



安城ロータリークラブ 週報
ROTARY CLUB OF ANJO



●NO. 532 2012/2 第1例会●

テーマ 『 Let' s Enjoy Rotary 』

- 創立日：S33年1月10日 ●RI加盟認証日：S33年2月6日
- 会長：杓名俊裕 ●会長エレクト：大見 宏 ●副会長：石川 博 ●幹 事：永谷文人
- クラブ会報：神谷 研 寺田孝司 恒川憲一
- 例会日：毎週金曜日 12:30~13:30 ●例会場：碧海信用金庫本店3F / 安城市御幸本町15-1
- TEL: 0566 - 75 - 8866 ●FAX: 0566 -74- 5678
- Email: anjo-rc19580206@katch.ne.jp ●HP: <http://www.anjo-rc.org>

第2673回例会

2012年2月3日(金)12時30分から13時30分
司会者：小野田真代君
ソング：「君が代」、「奉仕の理想」
卓上花：かすみ草・スイートピー
ゲスト：津川聖子君(名古屋名東) 地区研修副委員長
加藤 弘君(安城) 情報・研修委員会委員長
ビジター：野村賢孝君(知立)
加藤英二君(刈谷)

出席報告

出席委員会 内藤教恵君
会員56名 出席義務者45名 出席39名 欠席6名
内出席免除者の出席9名 出席率88.88 %
修正出席率1月22日第2671回例会100%

委嘱状授与式

2012-2013年度第2760地区への出向者へ委嘱状を授与
細井英治君 研修委員会委員
永谷文人君 RCC委員会委員長、社会奉仕委員会副委員長、
危機管理委員会委員
石川 博君 東日本大震災プロジェクト委員会委員
奥田法行君 地区大会企画委員会委員
杓名俊裕君 地区大会企画委員会委員
神谷 研君 ロータリー財団委員会会計長

会長挨拶 会長 杓名俊裕君

(連絡事項)

1. カンボジア井戸掘り事業(1基追加決定)
2. 地区大会報告
 - ① メインテーマ「強く生きる」
書道家大池青岑氏(おおいけせいしん)に墨書依頼

をしました。

- ② 講師：落合博満氏と交渉中です。
3. 第27回 明治用水緑道市民駅伝大会
日 時：2月12日(日)
開 会：8時45分
会 場：安城市総合運動公園陸上競技場
後 援：安城ロータリークラブ



明治用水・中日新聞

4. 2/2(木)~3/中旬まで
「マイウェイ」掲載(中部経済新聞)
杓名俊裕会長が寄稿、全38話の予定です。



(あいさつ)

元気印企業の紹介

本日の企業のテーマは「つくし続けてこそ、NO. 1」です。それはユニ・チャーム(株)です。経営者は、取締役ファンダー高原慶一郎氏(たかはらけいいちろう)(80歳)です。

高原氏は、1961年に大成化工(株)を設立しました。その時、高原氏の父親は製紙会社を経営していましたが、継がずに自分で創業しました。理由は、創業社長になりたい!でした。

同社は1963年に生理用ナプキンの製造・販売を開始しました。高原氏が、アメリカ視察に赴いた時、スーパーで周囲を気にせず生理用品を購入しました。まだ日本にはそんな習慣が無く、これはチャンスだ!と確信しました。

1974年社名をユニ・チャーム(株)に変更しました。1976年東京証券取引所二部上場(1985年一部上場)し、

今月のお祝い

- ◆会員誕生日 成瀬介宣君(2/11) 石川義典君(2/14) 藤井英樹君(2/18) 近藤裕保君(2/18)
都築雅人君(2/22) 大嶽岩雄君(2/22) 杉山淳一君(2/24) 松本隆利君(2/28)
- ◆還暦祝い 大嶽岩雄君 近藤裕保君 ◆夫人誕生日 戸谷一美様(2/15) 市川裕美子様(2/17)
- ◆結婚記念日 鈴木福美・公江ご夫妻(2/18) 竹内通裕・久代ご夫妻(2/21) 深津正則・啓子ご夫妻(2/27)
兼松信吾・佳子ご夫妻(2/6)



1981年に子供用紙おむつを発売、1986年にはペットシートと介護用紙おむつを発売しました。2001年に高原氏は、会長に就任(2011年取締役ファウンダー就任)し、長男豪久(たかひさ)氏に社長を継承しました。

ユニ・チャーム㈱は、2011年3月期現在、売上高3,769億円、経常利益431億円、資本金159億円、時価総額8,288億円(東証一部)です。

ユニ・チャーム㈱の商品コンセプトは「心とからだ」の健康をサポートです。



また、「生活者の“不快”を“快”へ」も企業理念の柱です。「お母さんと赤ちゃん」、「介護する人と介護される人」、「飼い主とペット」すべてに快適生活を提案します。



本日のまとめとして、ロータリークラブは、新たな、「習慣」・「常識」を創りあげる、を揚げたいと思います。

幹事報告 幹事 永谷文人君

- ◆本日例会終了後会議室にてIM総務部会の打ち合わせを行います。参加者には連絡済です。
- ◆3/9 職場例会をキャッチネットワークにて行います。ご案内を本日配布いたしましたので2/17までに欠席報告をお願いいたします。
- ◆本日IMのお土産をお持ち帰りください。次年度地区出向者へ委嘱状が届いております。

委員会報告

会場委員会 山口研君

- ◆4月27日の例会を夜間例会に変更します。ジャズを聴きながら食事をしたいと思います。

ニコボックス報告 近藤裕保君

本日のニコボックスメッセージ紹介

本日の例会

クラブフォーラム

- ・テーマ：「RI戦略計画」
- ・担当者：加藤弘君(ロータリー情報委員会委員長)
- ・卓話者：津川聖子君(名古屋名東RC)

第2760地区研修委員会副委員長



卓話

「RI戦略計画」

節分を機に、針が動き始めます。明るい光に希望を託しながら、巡りくる3月に哀しみが甦りますね。

昨年12月、甚大な被害を受けた南三陸町を訪れました。自分の目で見て、肌で感じたものは、映像とはまるで違うものでした。

語りの部の話を聞きながら、人生の価値観が変わりました。この未曾有の経験から私たちは何を学ぶべきか...考えさせられた時間でした。

RCの活動のひとつに米山記念奨学会があります。外国人留学生の為に、ロータリアンの寄付金を役立てるものですが、奨学金を受け取っても、帰国すると無しのつづて...が多いと残念な話を耳にしていました。

ところが、この震災を知り、卒業した奨学生が中心となって支援に動いてくれたのです。台湾をはじめ、アジア諸国の迅速で温かい支援には頭が下がりました。

日本のRCが蒔いた種がこのような形で芽を出して、久しぶりに温かい気持ちになりました。

被害に遭われた会員は、ロータリアンの存在が大きな支えになったと聞きました。

また、ロータリーの友の1月号「心は共に」で紹介されている全国のクラブの迅速な対応、様々な支援の取り組みに感銘を受けました。

ロータリーカードで復興支援を！の試みも素晴らしいですね。震災のキーワードとなった「絆」。絆は、横のつながりがあって生まれるものです。この震災で、ロータリークラブの組織力を再認識した方も多いことでしょう。



安城ロータリークラブ 週報

ROTARY CLUB OF ANJO



組織の機動力は一朝一夕に生まれるものではありません。毎週の例会の親睦、各委員会の勉強会・・・それらが積み重なって力を発揮するのです。

高台に立ち、失われた町を見ながら思いました。誇りを持ってロータリーの活動に取り組んでいこう・・・。私の職業を通して呼びかけていこう・・・。

ですから、今日、こうして皆様とご一緒できて、本当にうれしく思います。

さて、ご存知のように、国際ロータリーは昨年11月からR I 長期計画がR I 戦略計画へと名称が変わりました。当初は、戦略・・・の響きに、戦争をイメージするとの声があったために、長期計画としたそうですが、平和な時代の今、本来の意味になった経緯があります。

戦略計画になって、如何ですか？前向きな気持ちになりませんか？

中核となる5つの価値観は・・・

奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップ・・・です。

優先項目として・・・

「クラブのサポートと強化」

「人道的奉仕の重点化と増加」

「公共イメージと認知度の向上」

この3つを掲げました。これを聞くと、あまりに理想的で現実味がありません。

何をすればいいのかわからない・・・。こんな声も聞えてきます。

でも、会社の運営に例えれば、どうでしょう？会員の皆さんはリーダーとして手腕を振るっている方ばかり。普段取り組んでいることから、見えてくるものがあるはずです。

ロータリーが誕生したのは107年前。日本は国の存亡を賭けてロシアと戦っていた時代です。そして今、私たちは、当時から想像もできない、平和と、豊かさ、快適さを手にしました。

特に、ここ2～3年は、携帯電話をはじめ、通信手段の進化は、目を見張るものがあります。

時代に沿って、何を变え、何を残すか・・・今まさに転換期を迎えている気がします。

ロータリーの未来を調査したところ・・・、80%以上が、将来への戦略計画の必要性を感じているとの結果がでました。未来像は、柔軟性と刷新性のあるクラブ。

与えられたプログラムではなく、自分たちで調べ、計画し、実践する自主性が求められている事が分かりました。

気になる統計があります。国際ロータリーの調査によ

ると、日本人の半数がロータリーを知らず、存在を知っていても、何をしているのかわからない人が28.5%もいます。また、ロータリアンに対し、半数の人が男性のイメージを抱いているのです。

「公共イメージと認知度の向上」は、次世代の育成につながる優先事項です。

ホームページの充実、通信機器を駆使した活動の紹介など、効果的な取り組みで、認知から理解へ、そして賛同と参加へ、流れを作りたいものです。パソコンが得意な若いメンバーに期待しています。

さて、もう一つ取り組みたい身近な改善点があります。

現在の1年ごとに変わる役割の体制をどうするか・・・。クラブの強化のためには、3年が妥当ではないか、との意見もあります。私も会長を務めました、1年はあつという間でした。

クラブと地区における戦略計画を立てて、実行するためには、優れたリーダーが必要です。長期的に取り組む新体制が問われています。リーダーの育成には何年が妥当なのか・・・

皆さんの知恵と経験で、活発な協議をお願いします。会社でも同様ですが、ロータリーの将来にも、次世代のリーダーの育成が欠かせません。

それぞれの分野でリーダーシップを発揮している会員がサポートすれば、新リーダーが育ち、ダイナミックなクラブ運営が出来ると信じています。

刷新性あふれるクラブが自主的な活動をすれば、各クラブを刺激し、相互交流も深まり、地域と海外を結ぶプロジェクトの創造も可能でしょう。国境を超えた人道的奉仕の善き循環が生まれるはずです。

この震災で、私たちは人の力の素晴らしさを目の当たりにしました。ロータリーの未来も、まさに人にあります。

戦略計画の使命は・・・。他社に奉仕し、高潔性を促進し、事業と専門職務および地域社会のリーダーの間の親睦を通じて、世界理解、親善、平和を促進する。

四つのテストを絶えず問いながら、ロータリアンの人の力を育てましょう。

先達が苦勞して育てたロータリアンの素晴らしさを若い人に伝えてゆきましょう。

(謝金はニコボックスにご寄贈されました)

本日の卓話は、R I が新たな研修方式として導入した、受講者にどんどん質問する形式(R L I の方式)にて、進められました。皆さんドキドキでした。